

様式1（学校法人用）

令和 6年 4月 1日

「学校関係者評価」の実施状況報告書

(宛先)

埼玉県知事 大野 元裕 様

主たる事務所

所在地 埼玉県入間郡越生町越生 950

学校法人名 信愛学園

理事長名 浅野 訓正 印

電話番号 049-292-2106

幼稚園の学校関係者評価の実施状況については、下記のとおりです。

記

1. 実施済み

幼稚園名
越生みどり幼稚園
幼稚園
幼稚園
幼稚園
幼稚園
幼稚園

2. 実施なし

(理由 複数回答可)

- 1 実施方法がわからない
- 2 実施する時間的余裕がない
- 3 法令上の義務または努力義務であることを知らなかった
- 4 現時点で評価を実施するメリットや必要性を感じない
- 5 その他 ()

学校評価シート（自己評価）令和 5 年（2023 年度）

越生みどり幼稚園

1、園の教育目標

【幼稚園教育目標】「JOY HOPE LOVE」 喜びと希望と愛をもって育つ子

○ げんきな子 《健康な心と体》

* 幼稚園を楽しむ(すみれ) 楽しんで遊ぶ(ゆり) 楽しんでいっしょに遊ぶ(きく)

・ 進んで遊びや運動を楽しむ ・ 遊びを通して豊かな感性や表現を身に着ける。

○ 考える子《学びに向かう力》

* 心動かす体験をする(すみれ) 自分でやりたいことが生まれる(ゆり)

最後までやり遂げる力を持つ(きく)

・ 自分の力で考えて行動する ・ みんなで決めた約束を守る ・ 目を見てお話を聞く

○ なかよくできる子 《協同性》

* お友だちに気づく(すみれ) お友だちに気づいて気持ちを伝える(ゆり)

お友だちの気持ちを受け止め思いを伝え合う(きく)

・ 友達といっしょに遊ぶ ・ 相手を思いやる ・ 自然の中で動植物に親しみをもって大切にする

2、具体的な目標や計画

- ・ 子どもたちの生き生きとした活動を援助するため、チーム保育(様々な関わり)を実践し、保育者も園児も、共に生き生きと生きる幼稚園を目指す。
- ・ 日常的に園の周りの環境を生かした山保育を行い、体幹を鍛え、心も体も健康に育てる。
- ・ 子どもたちの自主自立を重んじ、教諭が教え込む保育ではなく、共に話し合い作り出す保育を目指す。同じように教諭同士も、保育について語り合う風土を作り出せる時間を大切にする。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
2 歳児から 3 歳児への切れ目のない対応(幼稚園接続保育)を推進する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2歳児の一時預かり事業を行いたかったが、来年度から始まる「子ども誰でも通園制度」を見据えて、今後の方向性を考えていくことにする。 ・ そのうえで、預かり保育の担当も来年度から 2 人体制とするので、預かり保育の多様性を考え、臨機応変に対応できるようにしていく方向性へと変化していきたい。

<p>園児の安全のための園整備 (園バス安全点検・不審者侵入に備えた安全管理)</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園バスの置きざり事案のため、国より置きざり防止のシステムを完備するようにとのことで早めにバスへの完備を行った。(費用は国が全額負担) ・ 日常的な人間の目での確認も怠らず、毎日のチェック表に記入して確認している。 ・ システムも導入して、子どもの命を守ることを第一としている。 ・ 中学校への侵入と切りつけ事件があり、学事課より、不審者侵入に備えた安全管理犯について再度確認するように通達があった。 ・ それを受けて、園内に簡単に侵入できないように、門に電気錠を設置する工事を行う予定であったが、文科省からの返答が遅れに遅れ 2 月終わりになっても決定しなかった。(1/2補助金) 3 月 4 日ようやく内定通知が出て、今年度中に工事するようだという通達であるが、年度内で終わるよう業者と打ち合わせ中である。
<p>園の周りの環境を整える。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園舎内部については水まわりの工事も完了し、環境が整ったので、園舎裏の雑木林の伐採や、管理をはじめた。 ・ 裏の崖は子どもたちの大好きな遊び場所なので、日常的に自由に遊べるように自然を残しながら丁寧な整備を始めている。実際には雑木を伐採し、笹を刈って子どもたちが通りやすいように整備している。 ・ 3年前にはシカが出たこともあり、雑木林のままだと害獣が近づくことも聞いているので、気を付けていきたい。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 施設型給付の幼稚園に移行し4年目を迎え、事務の仕事も理解しながら行った一年であった。今年度も、園児の安全と健康を守り、園生活がスムーズに行われるように心を砕いた。 園行事もオープンにし、すべての行事を行うことができた。 うさぎ(プレ幼稚園)ひよこ(子育てパーティー)と園庭開放は通常通り行った。幼稚園に慣れ、園児と触れ合う良い機会で多くの親子が集った。 保護者の声を受け、いつでも来られるスペースづくりを今後考えていきたい。 こまめにミーティングを行い、チームとして声を掛け合って保育にのぞんだ。来園度は新卒教諭が入職するので、また、一緒に働く仲間としてよい職場づくりをしていきたい。

○結果(※)について

A	十分達成されている
ⓑ	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
2歳児から3歳児への切れ目のない対応(幼稚園接続保育)を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 「子ども誰でも通園制度」を受け、どのようにしたら当園らしいやりかたができるかを考えていく。幼稚園独自のやり方を模索したい。(制度を作っておいて柔軟に対応する。) 預かり保育利用者の数の増大に対応するため、担当を一人ではなく常に2人とする。 対象は2歳からの幼稚園児の下の子及びひよこ、うさぎ参加者から始める。このことにより下の子を預けたい保護者の助けとなるようにしていきたい。 また、保護者の声を受け、いつでも来て、ゆっくりできるスペースづくりを考えていきたい。
教諭のためのノンコンタクトタイム	<ul style="list-style-type: none"> 教諭のノンコンタクトタイムを通常の保育時間にも作れるように少しずつ変えていく。今後、教諭の働き方改革や、休憩の取り方なども考えていく必要がある。

<p>ムを作っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ チーム保育の中で、交代しながら休憩をとれるように工夫していきたい。 ・ 新しい試みだが、日本の教育職は一日のうちにほっとする時間が採れないことが多いし、昼食時も子どもと一緒にいるため、休憩の時間もなく一日働き続けている。教諭の休憩となる時間を作り出すことができるように考えていきたい。
<p>園の周りの環境を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋根の整備を行う予定。一番古い東側の保育室 2 部屋の屋根に遮熱塗料を塗る。 ・ 園舎内部については水まわりの工事も完了し、環境が整った。 ・ 裏の崖は子どもたちの大好きな遊び場所なので、日常的に自由に遊べるように自然を残しながら丁寧な整備を行いたい。 ・ 職員の家族の中に大工さんがいるので、木の枝が大きく曲がっているところに、ツリーハウスのようなものができないか模索している。 ・ 3年前にはシカが出たこともあり、雑木林のままだと害獣が近づくことも聞いているので、気を付けていきたい。

学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 令和6年4月 3日(水) 13:00~14:00(時間)

出席者 評価委員(4)人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

- ・ 適切であった
- ・ 幼稚園全体の安全は大切であり、その中で子どもたちの成長を見守る保育が行われるためには、設定は適切だと思う。
- ・ 幼稚園の教育目標や具体的な計画、評価がわかりやすく具体的に書かれていた。

2. 評価結果の内容は適切であったか

- ・ 適切であった。
- ・ 保育の環境を整えつつ、保育の充実または預かり保育への対応もあり、内容は適切だと思う。
- ・ 「達成されている」の結果がこれからも維持できるとよい。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

- ・ 適切に設定されている。
- ・ 先生方の職場環境や体調管理も大切だと思いますので、課題は適切に設定されていると思います。
- ・ 子どもたちのこと、先生方の働き方そして、環境や整備まで細やかな課題が設定されている。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

- ・ 適切である。
- ・ これからのみどり幼稚園のために適切に行われていると思います。
- ・ 多くの課題が改善されていたり、今後取り組めるよう動いていることがよく分かった。